（明治四十一年十二月三十日第三種郵便物認可）（日刊）月曜及祭日之翌日休刊 明治四十五年一月十八日（木曜日） 第八百六十四號 （一）

京城新報

人の一生は重荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐべからず

明治四十五年 紀元二千五百七十二年
本紙定價 一枚金三錢 ▲一ヶ月前金六十錢 ▲三ヶ月前金一圓八十錢 ▲郵税一ヶ月十五錢
月曜日及び祭日の翌日は休日（日刊）
廣告料金 ▲五號活字十七字詰一行一回金十六錢 ▲特別廣告 五號活字十七字詰一行金七十五錢
發行兼編輯人 高木久太郎
印刷人 松久一馬
發行所 京城西小門通 京城新報社 電話 二一五六番・二六一番
仁川支局 仁川宮町三丁目
東京支局 東京市京橋區南佐柄木町七番地

寄書

スカンヂナビヤ一年間の見聞（三）

在瑞典ストックホルム 三浦彌五郎

一、スカンヂナビヤ三國は何れも立憲君主制の國にして其の憲法史も頗る古く特に地方自治の根底最も强きが如しリクスターグ（瑞、丁の國會）は何れも上下兩院より成る但しストルチング（諾威の國會）は初めより兩院あるにあらずして議員を二分し其の總數の四分の一を以て上院を組織し殘りの四分の三を以て下院を組織す茲に三國憲法の規定を記述するの煩を避くべしと雖も之を約言すれば國會の權限頗る廣大にして殆んど民主政治の狀態を呈す諾威の國會の如きは自己の權限にて勝手に會期を延長し終了することを得るなり、每年一月中に行はるゝ瑞典の國會開院式も亦一特徵を有す議事堂は堀を隔てゝ王城と近く相對峙するも國王は議事堂に入ることを得ざるの慣例にして開院式は王城內に擧行せらるゝ是れ千七百七十二年ギユスタバス三世が當時黨爭是れ事とし公議を名として多數專制を恣まゝにしたる國會議員等を追ひ拂ひ憲法を廢止したることありしが其の後憲法の復活と共に國王の議事堂に入ることを許さゞるに至りたるものなりと云ふ式場內には古代の武裝をなし古代の槍劍を執りたる數十名の衛士を中央二列に整列せしめ其の一方の椅子には上院議員他の一方には下院議員着席し國王の開院式勅語に次きて總理大臣政況報告を爲し夫より兩院議長は陛下の御前に進み出でゝ各々奉答の演說を爲す順序なりとす、政黨は保守、自由、社會の三黨派に大別することを得、今一々各派の主張を陳述するは其の煩に堪へざるも試みに首領等の演說によりて瑞典の政黨の主義とする所を略述すべし

瑞典は昨年十月迄は保守黨の政府なりしが同年九月中施行せる總選擧の結果政府黨敗北し自由黨の新內閣を見るに至れり前首相リンドマン氏の選擧演說の一節に曰く熟々各國の左黨各派の主張する改良の性質を見るに單に形式上の問題例へば憲法的性質を有する諸問題を目的とするの傾向を有し之に反して右黨各派は實体的性質の諸問題即ち實業並に經濟問題に多大の注意を拂ふものゝ如し我國も亦其の例に漏れざるなり現下の形勢の一特徵と認むべきことは瑞典の自由黨は議會の形式に最も重きを措きて其の極我憲法を紛更するの結果を招致せんとす、予は若し吾人が暫時の間一切の憲法上の爭論を拋擲して吾人の全力を實業發展の目的に傾注し以て必要なる社會的改良の確固たる基礎を据ゆることを得ば國家の爲め頗る有利なるべしと信ず云々

內亂の發展と國際法

法學士 蜷川新

（一）內亂と國際法

一 國際法は國と國との關係を規定するを原則となす法規なるが故に內亂即ち單に一國內の發生事項たるに過ぎざる事實に就ては全く沒交涉なり然れども一國內の變亂にして漸く其の波及する所擴大せられたる場合即ち內亂の發展したる場合に於ては內亂も又國際法上の問題となり國際法に照して研究を要するの題目と變す。

二 內亂の發展と交戰主體の承認

（イ）概論

內亂の漸く發展するに迨んでや從來の刑法上の罪人たりし反徒は漸くにして土地を得人民を綏撫し又權力を收め恰も純然たる一箇の國家的團體を形成し來り第三國は之と經濟的其の他の關係を定む可き必要上より之を獨立せる一種國際法上の權利主體と認むるの已むを得ざるに至るの事情より或は又本來の正當政府は其の勢圖を失し又其の反徒の第三國に及ぼしたる損害に付て責任を負ふの不利なるを認むる等の事情の下に反徒を以て交戰主體と認め國內關係より移して國際關係たらしむるに至る事あり之に關し學說並に實例を揭げて更に詳說する所あらんとす

（ロ）學說

內亂の發展に伴ひ反徒の交戰主體として承認せらるゝに至ることあるべきは學說の一般に認むる所にして英米並に大陸派學者の說く所大差なし曰く

一、交戰主體の承認は一時的現象なり

二、交戰主體の承認は戰爭事項のみに關して獨立人格を認むるに在り

三、交戰主體の承認は後日に至り之を取消すことを

四、交戰主體の承認は本來の國家より或は第三國より之を爲し而て本來の正當政府之を承認するも第三國は必ずしも之を承認せざる可らざる理由なく又第三國之を認むるも本來の國家は必ずしも之を認めざる可らざる理由なし

五、交戰主體の承認は戰時國際法を實行するに足る可き人民土地及權力を有する確實の團體ならざる可らずと

又學者の會合たる國際法協會は一千九百年ニユーシャーテルに於ける會合に於て內亂の場合に際し本來の正當政府に對する第三國の權利義務に付き決議したり左の如し。

第二條 或獨立國と平和の關係に在る第三國は該獨立國が其の國內平和の恢復の爲めに行ふ方法を妨害す可らず第三國は反徒に對し武器、彈藥、軍用物件軍用金を供給す可らず第三國は該獨立國に抗敵する出征軍を其の領土內に於て編制せしむ可らず

第三條 國籍の如何を問はず內亂加擔者を一樣に嚴罰に處するに關し內亂發生國の政府に對し抗議を申立つることを得ず、但特種慘酷にして且つ明に懲罰の必要を超へたる刑罰に就ては此限にあらず

俳句

●俳諧聯詩 松の內

李雨景投

改たまる膝の上より今年かな 丹葉
注連揺がせて渡る初東風 同
柳にや梅にや附けん懸想文 同
齒朶の塵掃く蓬萊のすね 同
夜ひと夜かるたに更す局部屋 同
宿直の武士も屠蘇に醉ひ臭 同
早二日すまし雜煮の淡泊りと 同
謠ひ初の所望さるゝ小冠者 同
萬歳の袋にもある豊の嵩 同
羽子に手鞠に拍子能き春 同
堂島は花のなにわの米市場 同
初手合せに人氣引き立つ 同
又別に宴の庭をしつらひて 同
春を寛ろぐ主客の顔 同
七草の折敷を傳ふ雪の雫 同
神酒に局冷す人の日 同
欲深き人の込み合ふ若戎 同
根引の松も燒る左義長 同

外事一束

▲佛國▲カイヨー內閣瓦解せるも過般締結の獨佛摩洛哥協約批准に影響無しと

▲伊國▲政府今や新に三萬の遠征隊をトリポリに增遣すべく準備中なりと云

▲蒙古▲政府命令を發し庫倫に向け赴任中の清國蒙古駐在官の入國を拒絕す

▲北米▲議會に於てカタ少將合衆國が陸軍の擴張を行はずんば太平洋上の▲領土▲を失ふに至ると述べ盛んに米國の陸軍擴張說の主張に努むといへり

▲日本▲勞働者北米アリゾナ州に於いて五十名の勞働同盟米人の襲擊を受け▲負傷▲者數名を出し財貨を强奪され府知事に保護を依賴し警吏出張せりと

▲洪水▲亞細亞土耳其アレッポ州に起り河川汎濫して三十の村落を蕩盡せり

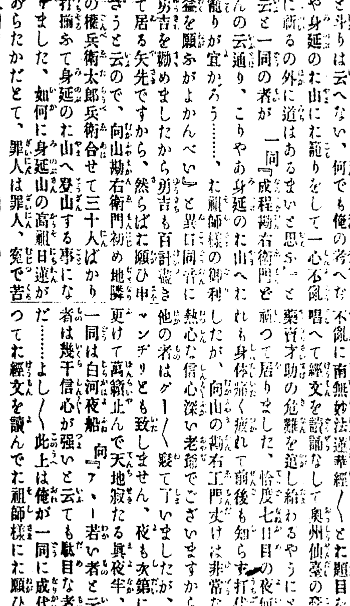
▲巴里▲一般の見解に依れば新內閣はデルカッセ氏に依り組織さるべしと云

梁川庄八

第七十九回

小金井蘆洲演

現今と違つて往昔は農商工三民の上に武門武士があつて三民の權利を蹂躙して、聊かも自由と云者は與へて置かれない、況して公事訴訟抔に至つては司法が獨立して居らない、法律に正條と云者がないから、掛り奉行の手加減に依つた者です、夫だから隨分依估偏派な裁判が有た者です、亦夫が慣になつて居るから人民も至つて呑氣な者でした、長い者には卷かれろ、大きな者には呑まれろ、低い所には自然と水の溜る道理だから仕方ない、と斯う云て何事も命令に服從して居た者です、考へれば隨分間拔な者でした、然う云時分ですから誰一人勇吉の相談に、斯うなさいましと智惠を假して呉れる者もございませぬ、滿座只歎息を吐くばかり寂然とした、折から向山の勘右工門と云ふ親類が進み出でまして向『こりやあもう何うも仕方がないから勇吉どん神樣佛樣のお力を假りるより外に仕樣はあるまい……何だ身延の御山にお籠りをしてお祖師樣に一生懸命で御願ひ申すが宜かろう』勇『成程ね併し乾度御利益がありませうか』向『有るか無いか其處は俺にも請合ふ譯には行かないが併し信心の德で必ずしも御利益がないと斗りは云へない、何でも俺の考へだや身延のお山にお籠りをして一心に祈るの外に道はあるまいと思ふ』と云と一同の者が一同『成程勘右衛門どんの云通り、こりやあ身延のお山へお籠りが宜かろう……お祖師樣の御利益を願ふがよかんべい』と異口同音に勇吉を勸めましたから勇吉も百計盡きて居る矢先ですから、然らばお願ひ申さうと云ので、向山勘右衛門初め地隣の權兵衛太郎兵衛合せて三十人ばかり打揃ふて身延のお山へ登山する事になりました、如何に身延山の高祖日蓮がおらたかだとて、罪人は罪人、寃で苦しむ者をお籠りの力で助ける抔と云事は出來やう道理はない、是れは勿論昔堅氣の迷信に相違有ませんが、村方一同留守中の手當、お山の炊出しは總て勇吉一手で賄ふ事でございます、其處で勘右工門が先達で登山を致し、先づ和尚に面會を致しまして右の次第を具に打明けて物語り、お籠りを願ひましたる所、一も二もなく承知して呉れました、のみならず愚僧も共々に願つて其人の災難を遁れるやうにして遣ろうと云て呉れましたのは、是りや法師の慈悲と申者でしよう、是から一行は晝は本堂に夜はお籠り堂に這入つて一心不亂に南無妙法蓮華經〳〵とお題目を唱へて經文を讀誦なして奧州仙臺の賣藥賣才助の危難を遁し給わるやうにさ願つて居りました、恰度七日目の夜何れも身体痛く疲れて前後も知らず打伏したが、向山の勘右工門丈けは非常な熱心な信心深い老爺でございますから他の者はグー〳〵寢て了いましたが、マンヂリとも致しません、夜も次第に更けて萬籟止んで天地寂たる眞夜半、一同は白河夜船向『アヽ若い者と云者は幾干信心が強いと云ても駄目な者だ……よし〳〵此上は俺が一同に成代つてお經文を讀んでお祖師樣にお願ひ申ませう』と殊勝にも草木も睡れる丑三つ時、口を漱ぎ兩手を清め座を改めお厨子に對ひ合掌なし禮拜を遂げ聲高らかに向『南無妙法蓮華經南無高祖日蓮大菩薩何卒御利益を持ちまして賣藥屋さんの寃の罪のゆりますやう……南無妙法蓮華經〳〵』と頻りに願つて居りまする、此時堂の隅の方からノッソと現はれ出ましたる一人の侍、小刀を前半に帶し大刀を提げて士『コレ〳〵……』勘右衛門驚きながら振返り向『ハイ……何ぞ御用でござりますか』士『我等は先祖の菩提を吊はん爲に此御山に參詣を致し、圖らず今晩通夜を致し明日は開帳供養を致そうと存する法華信者であるが、初夜の頃から各々が集つて何か頻りに願事を致して居る、定めし深き仔細のある事ならんと思ひ居りしが、今其方が一人にて念んじて居たのを聞けば、奧州仙臺の賣藥賣云々と申したやうに覺へる、何か其賣藥賣が非道の裁判に難儀致すさうか、我等も奧州仙臺の者にて、同國好誼もあれば非道の吟味に困しむと聞いては、餘處に聞流す譯には行かぬ、我等の力の及ぶ限りは其者の難儀を救ひ遣したくなする、苦しからずば其次第を聞かして呉まいか』扨こそお祖師樣の御利益がソロ〳〵現はれて來たわいと迷信深き勘右工門悦んだ



東京電報

泰宮御避寒

泰宮殿下には來る二十一日午後一時三十分新橋發列車にて鎌倉御用邸に御避寒あらせらるべき旨仰出されたり

新驅逐艦進水

舞鶴海軍工廠にて建造中なる中型驅逐艦橘は二十七日進水式擧行の筈

賃金値上同盟

京濱に於ける石炭船夫の賃金値上げ同盟は態度頗る強硬なり

郵船の新造船

日本郵船會社にては現在會社の經營航路歐洲北米上海の三線中歐洲北米航配船中に近く被補助資格を失ふべきものあるより歐洲航路に充つべき一萬五千噸の汽船一隻宛を川崎三菱兩造船所に北米航路に用ゆる六千六百噸の汽船一隻宛を川崎三菱兩造船所に注文し漸次航路配船の改善整理を行ふ筈なりと

米國派清兵數

米國支那派兵歩兵第十五聯隊の第一大隊及び機關銃二挺其人員五百七十名馬匹九十五頭は十二日午後ローガン號にて馬尼剌出發の旨陸軍省に電報ありたり

大阪特電

大火災と損害額

大阪市南區の大火燒失戸數五千二百六十八戸に上り延燒區域南北二十町東西十町に及び損害額二千五百萬圓罹災者三萬餘人と算せらる

北京特電

袁世凱狙撃さる

袁世凱は十六日宮中より歸途刺客のために爆裂彈を投せられしも本人に中らず護衛兵の内二名即死十七名負傷し内八名は重傷を負ひ生命覺束なし犯人三名直ちに逮捕せられ嫌疑者續々檢擧せられ北京市内に於る人心恟々たり

艦隊芝罘入港

革命軍の北伐艦隊三隻十六日芝罘に入港せり

又々休戰條約

官軍及び革軍は更に二十九日迄十四日間休戰條約を締結せり

露兵蒙古駐屯

露國軍隊は喀克圖を經て蒙古に入り駐屯したりとの報ありたり

市内警戒嚴密

革命黨員當地に潜伏しをれりとて官軍の警戒極めて嚴重にして主なる會堂に軍隊を派遣し市内入口には檢査場を設け又奥地より入り込みたる旅行者に對しては一層嚴密なる檢査をなしをれり

上海特電

袁の不許判

袁世凱が露清密約を策し軍費を借入れんとの説あるにより直隷諮議局は憤慨して袁の罪惡を鳴さんとしつゝあり

前進革軍兵力

革命軍は數日前黄坡を占領し青山に上陸し浙江附近に向つて前進しつゝあり其兵力は少くとも四千以上なりといふ

雜報

●土地調査

朝鮮の一大事業たる土地の調査は一千五百九十八萬六千二百二圓の豫算を以て一昨年五月より着手し爾來着々進行中なるが本年度豫算は百七十五萬七千二百四十六圓にして五班廿二分班を以て水原、安城、廣州、大邱及廣州方面を調査したるが明四十五年度は既定年制額よりすれば三百餘萬圓の豫算なるも總督府來年度豫算大体の編製上より約七十萬圓を減じて二百三十八萬三百十九圓を計上したるを以て竣効期限六年九ヶ月の豫定は之れがために多少の遲延を免れざる由而して本年度の事業は前各班の外十一分班を增加し忠清道の平澤溫陽及蔚山方面に及ぶ筈にて細部測量も之れと同じく五月中より右地方に着手し十一分班となるべしと云ふ

●政務總監東上

山縣政務總監は桑原秘書官隨行來る二十三日頃當地出發東上の事に內定せり尚總監は二月迄滯京の筈なりと

●平北道金產出額

平安北道義州府雲山郡外五郡に於ける昨年一月以降六月迄の金塊及砂金產出額は二百三十三萬二千二百六十一圓なりと而して地金の約七分は朝鮮銀行に賣却し一分は安東縣方面なる日人に賣却し二分は附近の日鮮人間に賣却され居れりと

●地金買入高

朝鮮銀行本店に於ける昨四十四年一ヶ年間の地金買入總高は二千七百八十四貫八百六十二匁五分一厘にして其の總價額は一匁目の純金買入高四圓九十八錢として七百八十八萬四千一百七十一圓八十七錢なりと

●內務部長會議

總督府に於ける內務部長會議は十六日も午前九時三十分より前日に引續き開會內務部主管學務及地方行政に關する諮問事項の答申あり午後一時散會したり

●平北の柞蠶と製絲

平安北道に於ける柞蠶は近年其の成績却々に好く昨年の如きは其の產繭の大部分を芝罘に輸出することゝなり居りしが十月にいたり清國の動亂起り爲めに芝罘の市場に於て取引杜絶したるを以て當事者に於ても之れが處分に窮したるが結局平北道廳監督の下に之れを製糸に附することゝし目下製糸中なるが唯熟練なる製糸職工乏しきを以て困難を感じ居れりといふ

●京元線工事狀況

十二月末日現在總督府調査に係る京元線建築工事の狀況を聞くに大要左の如し

▲龍山方面　木工橋梁隧道工事は議政府哨林里間(十七哩)哨林里漣川間(九哩四分)竣功漣川鐵原間(十四哩九分)工事九分通竣功全体を通じて八分四厘通り竣功せり鐵原平康間(十三哩九分)土工事一分通りの成工にして橋梁工事は未だ歩通を計上するに至らず軌道敷設並に建築列車運轉は議政府漣川間二十六哩四分の內十九哩に至り建物工事は清源命停車場構內保線手詰所其他新築工事は何れも竣工し用地は漣川平康間二十八哩八分の買收は未だ全く之を終了せず平康裂木間九哩一分の丈量及買收は全部終了す

▲元山方面　元山里南山間(十哩五分)土工事三分一厘通り橋梁工事は歩通を計上するに至らずして一分四厘通成工し電線は元山南山間十三哩六分の全部架線を了し用地は元山元山里間三哩一分の內五分五厘通り元山里南山間十哩五分の內九分九厘通買收を了し高山三防間八哩九分の丈量は本月を以て全部終了せり

●學級激增

當地內地人小學校は移住者の激增と共に月に學童增加し鐘路及龍山元町の新築をさへ見るに至りたるが去る十二月末現在にては高等科鐘路七龍山二合計九學級尋常科龍山十八、日出十七、南大門二十八、櫻井十一合計七十四學級なるが來る四月の學級編成には高等科鐘路一龍山一尋常科鐘路十龍山八日出二櫻井三南大門三減少合計二十二學級增加の見込なるが假に一學級の編成を五十人とするも千百人の學童增加する譯也

●民團徵稅整理

京城民團にては目下稅金滯納累計實に十四萬圓に上ほり居れるが斯くては豫算編成上或は事務上大障害なるを以て此際大整理を行ふ事に決し目下其方法等講究中なりと

●商議總會決議

京城日本人商業會議所議員總會は既報十六日午後一時同會議所樓上に於て開會さる出席議員十七名豫算變更の件、三上議員辭任認定の件及黄金町より永樂町を經て夫れより總督官邸にいたる道路擴張の件並に清國視察團組織の件につき決議し三時閉會したり

各銀行會社營業成績（十一）

明治四十四年下半期

▽漢城共同倉庫會社▽

……林同社支配人の談……

四十四年下半期に於ける漢城共同倉庫株式會社の營業成績は當會社は其の事業の性質上貨物の集散或は輸移出入狀況に依り其の營業成績に影響を受くること多く例年上半期は比較的業務繁忙を來すも下半期は閑散にして從つて上半期は利益多きも下半期は利益の減少を來すを免れず是れ當會社の營業利益なるものが銀行業者の夫れと趣を異にする處なり扨て當下半期を上半期と比較すれば上半期に於ては前年の繰越保管貨物五萬六千八百九十一個評價額三十九萬八千九百三十一圓五十一錢に同半期中の入庫貨物總高十八萬五千八百個評價額百三十六萬四千五百〇六圓四十八錢出庫總高十九萬五千四百九十七個評價額百十三萬九千三百五十六圓五十六錢なりしが下半期入庫貨物總高九萬一千二百四十二個評價額百萬三圓三十一錢出庫總高十萬四千七個評價額九十六萬六千〇二十四圓八十七錢に減少し期末に至り多少入庫品の增加したるを以て漸く三萬四千五百五十九個評價額四十萬六千六百二十五圓二十八錢を四十五年度に繰越すを得るに至れり又た貸出業に於ては上半期の貸出總額二十八萬三千四百七十圓六十錢に對し二十四萬四千六百七十五圓九十二錢に減じたるが是れ上半期は朝鮮主要移出品たる米穀の出廻期に際し取引最も繁忙を極めたるに反し下半期は新穀の出廻期の外は其の取引概して閑散なりしと農產物は豐作なりしに拘らず內地の米穀の影響を受けて常に價額は產地高を持續し新穀出廻期に於ても入庫品抄々しからず自然資金の需要も少く十二月中旬後に至り景氣挽回と共に稍其の繁忙を見たるに起因す而して利益金は例年の下半期に比し大差を見ざる豫定なりしも江景出張所閉鎖等の爲め多少多大の經費を要せしを以て大に利益金を減少し一千七百圓餘の純益を見るに至れり

●清國視察團組織

京城商業會議所主催朝鮮各地の有志を以て清國實業視察團を組織し來る三月下旬若くは四月上旬發程奉天、長春、ハルビン等を視察し歸途大連、旅順を經て更に天津、北京に入り上海地方をも視察するの議十六日夜決定せる由なるが其日順旅程は鐵道局其他との交涉もあり未だ決定に至らざるも不日確定發表すべしと

●大坂商議と移入稅

此程大坂商業會議所より京城日本人商業會議所に宛て朝鮮米穀移出關稅撤廢と決定せる上は飽迄右移入關稅撤廢運動を繼續されたく本會議所に於ては一日も之れが撤廢の期の早からんことを望む意味の通牒を發し來れりと

●商工調査會決議

京城商工調査會は別項商業會議所議員總會閉會後午後三時より開會既報議案四件に付（一）は從來鮮人との取引は多くは現金を以てせず手形を以てなし居るも其期日不確實にて常に八九十萬の未拂あり依つて之れを有効に活用せしむる事（二）は京城商人間に移輸入商組合なるものを設け移輸入商品の賣物と申請書を相違なからしめ稅關吏をして兩々照合して檢査を行ふの煩を避けしむる事又鑑定價格は一時に之れを定むることの不可なるを以て今後商工調査會員に於て價格の當不當につき注意を拂ふ事（三）は官營事業としての印刷業の如きは民間と競爭の弊甚だしきを以て民業に影響せざる方法を講ぜられんことを請願する事（四）は直通後は南大門及西大門の兩驛を通過驛となすの必要上京義線汶山邊の驛より西大門若くは南大門驛に直通せしむる事等につき決議し午後五時散會したるが右は會議所の問題として當局に請願及び建議する筈なりといふ

●商議會頭問題其後

京城日本人商業會議所會頭問題は二三有志の熱心なる運動ありしにも拘はらずコヂれにコヂれ其の結果遂に失敗に終りしことは既報の如し而して其の後右有志等は一切同問題より手を引きたるを以て會議所當事者等は議員中より互撰のことゝなし再三役員會を開きたるも一向煮え切らず之れ又オヂャンとなり聊か持て餘し氣味とあつて爾來之れが問題に就て云々するものなく世人も亦同問題を忘れたるかの如き觀あるが今聞くところに依れば同問題は當分其のまゝとなし來る六月の半數議員改撰期に於て是非とも決定を見るにいたるべしとのことなり

●釀造組合と度支部

京城酒釀造組合員一同は此程鈴木度支部司稅局長を訪問し度支部釀造試驗所に於て釀造する清酒を民間に販賣することは自然民間の釀造業者と競爭の狀態になるを以て一考ありたしとの旨を述べたるに鈴木局長は當局に於ては毫もさる意志なきも釀造したる品物を何時迄も倉庫に貯藏する譯に行かざれば已むなく販賣することゝせしも今後は釀造組合に於て一手に之れを引受け販賣しなば双方の利益となるべしと辯明したりといふ

●仁川三銀行成績

仁川の三銀行支店に於ける去月中に於ける金融統計左の如し但し諸手形取扱高中送金爲替手形には公金普通送金電信電話送金を含むものとす（金額圓位）

▲諸手形取扱高▼

種目	仕向高（圓）	被仕向高（圓）
送金爲替手形	一、四五三、八四一	一、三七四、七九六
荷爲替手形	三五八、九九二	三三、四九三
他所割引代金取立手形	五三八、八一四	五四三、二六九
計	二、三五一、六四七	一、九五〇、五一八
前月計	一、九〇〇、八四九	一、六三九、六五〇

▲預金取扱高▼

種目	預金高（圓）	拂戻高（圓）
公金預金	一九、一一三	一四、四四五
定期預金	六四、一三五	五八、七一五
當座預金	四、七三二、〇五一	四、七〇四、七八四
小口當座預金	四七、六一八	七一、七一三
其他諸預金	六八、九九三	二七、七二〇
計	四、九二二、〇二〇	四、八七七、三六七
前月計	四、五六七、一五八	四、七三四、三三六

▲貸金取扱高▼

種目	貸出高（圓）	入金高（圓）
貸付金	二六四、九四五	一九二、一七三
當座貸付金	一、四〇三、七六八	一、三三二、〇三六
割引手形	九六二、六八二	九三三、七四九
荷爲替	三五八、九九二	二七、九一六
計	二、九八九、三八七	二、六九五、八六三
前月計	一、九三八、五三五	一、八七七、八五三

●第一艦隊鎮海發

鎮海灣に入港中なりし出羽司令長官の率ゆる第一艦隊は十七日午前九時同地發仁川に向ひたる旨同艦隊より總督府に電報ありたり

●通俗教育會と役員

既報通俗教育會京城支部設立の件は過般認可を得たるを以て東京の本部にては此の程幹事佐治靜治氏を京城に派遣し同氏は豫て內定の役員を公に決定し今後の方針を定め一兩日前一應歸京したるが之れが役員は會長古城菅堂副會長俞吉濬理事國井泉山口精幹事皆川条治、木戸留吉、市後崎權右衛門、張憲根等なりと

●南鮮諸島近況（二）

▲莞島及長興沿岸の海苔　莞島の海苔採取個所及產額は一期間平均古今面七部落にて千六百圓助業面五部落にて千六百圓平甘面十一部落にて八千圓金塘面三部落にて千二百圓生日面大部落にて七千圓又長興沿岸の分は來德面三部落にて一萬圓にして採取季節は毎年十一月より翌年舊二月迄とし最盛は正月とす販賣先は木浦康津長興地方にして買出人は來面するを常とす尚全羅南道廳に於ては莞島又は長興沿岸に海苔製造講習所の設立を計畫し其の位置撰定中なるが若し其製造方法を改良せば一期間平均三十萬圓の收益を得る見込なりと

▲外羅老島の現況　同島は鯛、鱸、鰕等の漁場なるも飯漁終熄の今日漁夫は勿論居住者の大半は歸國し殘留の者も全部荷造りを爲し便船を待ちつゝあり

▲大仁島及光陽甘浦の海苔　何れも海苔の產地にして特に甘浦にては水產組合に於て海苔製造練習所を設置し盛に斯業を奬勵しつゝあり

▲蟬島民の生活狀況　同島は戸數二百二十戸人口千五百人內七分は農業にして三分は船乘りとす一ヶ年の農產物は籾七百石麥八百石外に粟豆等の雜穀三百石、石綿花約二萬五千斤を產す同島にて食糧不足なるを以て一ヶ年約五ヶ月は船乘其他の勞銀にて食糧を補ふべく買得しつゝあり

▲荏子島古耳島民の狀態　荏子島は戸數六百五十六戸人口三千七百合して農を業とす一ヶ年の農產物は籾五千石麥五百石雜穀千八百石、副產として食鹽千三百石棉花一萬八千斤を產す尚古耳島は戸數百戸人口六百五十人農を業とす一ヶ年の農產物は籾三百石麥四百石雜穀三十石にて島民の食糧は素より不足なり然れども棉花一萬五千斤食鹽九百石其他の收入に依りて之を補ひつゝありと

●宇佐川總裁歸期

宇佐川東拓總裁は目下東萊溫泉に靜養中なるが來る二十四五日頃歸京すべしと

●宇佐美長官邸晩餐會

十七日午後六時より宇佐美長官は其官邸に各道內務部長及各部長官を招きて晩餐會を催ふせり

●中村農商務技師歡迎會

中村農商務省糖業改良事務局技師滿州視察の歸途寄京に付農商工部の課長技師等は十六日夜食道樂に於て歡迎會を開けり

●鮮銀の落成式

朝鮮銀行にては豫報の如く來る二十日午後二時半より落成式を擧行す官民千二百餘名に招待狀を發したり

●庵原水產課長の赴任

庵原水產課長は米花屬及堀部通譯を隨へ去る二日當地出發釜山、蔚山、麗洞、松眞、馬山方面の國有漁基、水產組合の業務漁民移住地の狀況調査を終へ十六日赴任したり

●閔長官の貴族招宴

李王職長官閔丙奭子は十七日午後一時より各貴族を招待し宴會を開けり

●釜山江口間の新航海

大阪商船會社釜山支店は釜山浦項間の航路を延長し毎月四回慶北盈德郡江口に寄港することゝなり去る五日瀛船大和川丸初めて入港せりと

公人私人

▲松本健二郎（明治鑛業會社長）十六日投宿中原旅館へ

▲石渡信太郎（豐國炭坑長）同上

▲富家正義（技手）同原金旅館へ

▲上泉德彌（海軍少將）十六日出發釜山へ

▲京城手形交換高

一月	金高	枚數
十七日	一三〇、五三七、五三〇	三八七

▲治外法權▼

南滿鐵道は、其用地內へ家屋を建築し、無屋賃で移住民へ貸すことにするソウだが、コレでこそ、移住民の奬勵及鐵道繁榮の目的を、合せて達し得る譯だ▲右に比べると朝鮮鐵道の用地不利用は困まつたもの、世話好きの總督は何とか考へたら良からう▲朝鮮鐵道の用地は移民奬勵の目的を以て、元京釜鐵道會社に與へられ、其後其儘鐵道局へ引繼がれたものだ▲現在の如く七六ケしい貸下規則の下に、高い地代を取つて短期貸下げをしたのでは、移住者奬勵の目的が達せられぬ、サテ移住者奬勵の目的が達せられぬとすれば、鐵道繁榮乃ち鐵道收入增加の目的も達せられぬ▲記者の見を以てすれば、鐵道の用地は、鐵道の敷地として無くてならぬ個所は之を除き、其他は賣拂ひ若しくは無地代同樣の安い地代で、三十箇年位の期限で貸渡すべきものだ▲サスレば家屋を建て、住ふ者にも、ソレを擔保にして資金を融通するの途が附き、尚資金を有する者は安心して地所の改良利用に資金を投じ、數年を出でずして、京釜京義兩沿線に大小の町が出來ることと思ふ▲目下入京中なる各道の內務部長は警察權を道廳に附屬せしめたしとの希望を以て、寄々協議中との事だ、精神一到何事か成らざらん、卿等大に奮發して可也▲昨年來何故かノビノビになつて居た、商議の勤續店員表彰が、來る二十日を以て愈々擧行さることになつたのは結構の事だ▲殖民地の店員由來移動多し、移動多きは之れシクヂリの多き證據、此間に在つて我京城の重なる商店に三十餘名の勤續者を出す、記者は今回の表彰を以て、勤續者を出せし商店の名譽なりと信ず▲附記す、本社の使用鮮人に漢仁書なるものあり彼れ四十年本社創立の際工場に入り、爾來一回の病みたることなく、四季を通じて、早出晩退、常に他の三人前を働く▲本社は每忘年會に於て、勤續者及精勤者の模範として彼れに授賞す、而して本社の多幸なる昨四十四年に於ては實に日人三名鮮人三名の年中皆勤者を出す▲本社社會部長の高木亦た創立以來の勤續者、兎角無性者は動かぬに限ると常に言つて居る。

●仁川の大淫魔窟 ▽坊主及未亡人の墮落

仁川寺町に〇〇寺とか云ふがあり此の寺の坊主に三辰とか云ふ年の頃は三十二三頗る的の辨者で殊に外交に長ずるので善男善女褒めたゝへぬはなく三辰の說敎には孰れも感服し居る程なるにヌの裡面に立入つて見ると殆ど魑魅魍魎の大淫魔窟とも云ふべきか肉の香に醉ひ生ながら地獄に墮落しあへりとは拐ても嘆はしき次第なるが抑も彼れが此の放縱亂脈なる性慾を發揮したるは昨年の秋頃よりとか敵女は誰有ふ支那町附近の或回漕店の未亡人にて年は已に四十一二にて亡き夫の靈を弔ふべく毎月忌日には必ず同寺に參詣し自から心を慰め居たりしが度重なるに從ひ遂くて近きが男女の交情とかや何日しか二人は怪しき交りを結ぶに至りしより未亡人は從來毎月忌日にのみ寺參りをなし居たるに坊主と關係を結びし翌日よりは日參と變じ亡き夫の亡き靈を祭る杯はソッチ退けにして坊主と痴話狂ひ喃々たる笑聲は折々戶外に洩れ他人に怪しまれし事もありとかなるに未亡人は年甲斐もなく夫れより毎日御化粧をなしてはチャラ〳〵して市中を行きつ戾りつする素振りの可笑さに附近の人の口の端に上りたるも未亡人には一向耳に入らず見るに見兼ねて養子某がれ母さん余り見惡い素行は少し注意して貰ひたいと意見を加へし事も再三なりとか然るに昨年十月の頃甘く養子を欺き今度は京都の本山に參詣すべきにより旅費五百圓程調達して吳れと云ふより養子は立に五百圓を渡したれば未亡人は顏形の崩れん計りに北叟笑み直に三辰に圖り同道して本山さして出立したる兩人は本山の參詣などゝは眞赤な僞り途中宮島から廣島京都大坂東京等を見物し其上三越にて坊主の仕着せに緋袈裟を新調させトート旅費を遣ひ果して歸仁したる後も互に醜行を繼續し居るに又もや同寺の附近の金滿家某の女中上りの女房た何が三辰坊主に懸想し秋波を送り居たるが亭主は時々田舍へ出張する爲め不在勝なるを幸に手出し足出し遂に怪しかる振舞を演ずるに至りたりとて近來同寺の廚裡は眞の大淫魔窟と化し了れりとて余りに評判の高ければ聞くがまゝを

●小春が千二百圓 ▽相手は大倉組の技師

旭町三丁目の開進亭に小春と云ふ精力主義の藝妓あり嘗て萬年小供の仇名ありて初めてですを十六回續けたと云ふ强か者にして初々しいが得手の際どい所で怪腕を揮ふが稼業に修業した身が此頃慾うしたさ云ふ事か朋輩藝妓は勿論朝晩何う人から來る客毎に私高ちやんの奧樣に成るのよ高ちやんが若しも心中すると云つてなら何時でも情死するワなぞと惚け散らすにぞ大抵の客は薄氣味惡がるを見兼ねた姊藝妓の誰彼夫れでは主前の爲であるまいと意見をしても平氣な顏して居ると聞いた頭痛持の三面子が探つた儘を披露せんに話は少々跡へ戾るが同家に昨年八月頃迄稼いで居た小萬と呼ばれし辣腕藝妓あり此妓豫て實弟を士官學校に入學せしめ其學資金を供給しつゝありとの事本紙に依つて紹介せられしより軍人仲間の同情を受けた結果は某陸軍將校に落籍され一應內地に歸省せしも事情あつて再び渡鮮し目下京城劵由良家席より元の小萬の名で稼ぎつゝあるが開進亭當時憲兵隊の淵上軍曹の贔負になつた結果が互に憎からず思ひ合ふ交情となつて居るとも知らず同じ憲兵隊の岩木伍長が小萬に野心を抱き小當りに當つた所大きな肱鐵砲を食はされしにぞ此畜生奴と敵愾心を起し面當て半分小春に的を變へて二世も三世もとた定まりの夫婦約束迄出來たもの、如何にも小萬が憎くて堪らず內偵の結果淵上軍曹との交情を探り當てしより夫れと上官に密告した譯でもあるまいが間もなく淵上は地方に轉勤を命ぜられしより岩木はた上の手にて戀の敵を取つて貰つた思ひして痛氣だ〳〵と屆けては小春と共に仁川だ水原だと洒落て居た事某憲兵特務の看破する所となり本月四日付にて免官と成つたが本來ならば小春とて自分の爲めに免官に成つたのならば氣の毒だ位は思ひ相なものを却て萬歲を稱へ早速目下旭町二丁目不知火旅館に下宿中の大倉組の技師高崎某と情約を成立せしめて金持つて來いが眞の戀なりと大に熱中した果が落籍談判と成つたるに最初小春の話に依れば五百圓位との事なりしがイザと成つたら千二百圓でなければとあり內譯は六百圓が前借、三百圓が親元に三百圓が衣裝代と事を分けての話に高崎君目下盛んに金策中と扨こそ〳〵

●勤續店員の略歷

來る二十日京城日本人商業會議所に於て京城各商店の店員中滿五ヶ年以上の勤續者に對し表彰を行ふ筈なること既報の如くなるが今左に表彰さるべき人々の略歷を列記せんに

▲藤澤啓太君 石川縣金澤市天神町の產で明治八年生れである二十九年六月渡鮮し三十二年四月より長谷川町一丁目淸水洋服店に入り洋服職工として滿十一年餘を正直一點張りで押し通した人である

▲高味庭三君 明治十四年鹿兒島縣薩摩郡隈之城村向田に產れた三十年七月渡鮮以來滿十三年以上を本町四丁目山口吳服店に辛棒した人で萬事に綿密で顧客に對しては頗る懇切である

▲松浦勝太郎君 今歲二十八の春を迎へた働き盛りで生れは廣島縣御調郡中丹村三十三年二月渡鮮以來十ケ年餘の星霜を本町二丁目辻屋商店に送つた性質は從順で酒煙草共に嗜まず未だ此の歲に至る迄料亭に遊んだ事がなく讀書が何より好きだとのことである

●醫學士の出前持 ▽喜代鶴拍子の情人

舊臘中仁川敷島吾妻樓に登樓して客帳に麗々しく京城本町一丁目醫學士淺野利一(二五)と記入し喜代鶴拍子を敵娼に散々の遊興を爲し駄法螺を吹立てたるに少々足らぬ喜代鶴女郎は眞の醫學士ならんと信じ私貴殿の女房に成りたいワなぞと多愛もなくヂャレ付き出すと例の醫學士先生得意に成て其後數回登樓し喜代鶴を呼で居たりしが先生近頃一向姿を見せぬに喜代鶴落膽し京城へ電話をかけては所々尋ねて見たれど京城にはソンな醫者はないと知れ一層落膽し居るを物好が探つて見ると其醫學士とは誰あらう元仁川東京堂の菓子配達人淺野利一とて常に聽診機を持ち廻りては醫者なりと云ひ觸したるなり然るに東京堂も解雇され今は新町奴亭の出前持ちを爲し居るなりとか喜代鶴拍子知るや否や

●當世駄々羅大盡 ▽罰金の代りに女郎買

仁川敷島第一朝日樓に去十四日夜登樓したる七人連の嫖客あり敵娼は所望とあつて久松、染吉、小松、三勝、江戶奴、年子、信夫が召されたり孰れも海山千年の手管者とて下へも置かぬ待遇に一同悅に入り大浮れに浮れて十六日の朝まで流連し勘定は〆て二百六十餘圓と云ふに綺麗に拂ひを濟し立歸りたりそも此の嫖客は誰あらう仁川花房町三宅運送店の主人が曾て賭博中に手入れとなりたるより何れ罰金の三百圓位は仰付らるゝ事と覺悟し居たるにタッた十圓の科料と有て御許しを受けたるを幸に店員橋本、山本、曾根、井上其他を引連れ斯くの散財を爲したる次第なりと

●日韓電氣と氷滑 ▽往復電車の割引

京城日報に依りて日本一の大氷滑場と命名られたる龍山漢江通の氷滑場は實は日韓電氣瓦斯會社が平素愛顧を蒙る京龍人士に一大娛樂場を提供せんが爲めに經費を支出し之を經營し**京城日報の名儀を借り**て廣く之れを世間に紹介したる迄に止まるものなれば、京城日報の讀者にあらずとも**何人を不問同場への出入は自由**なりと云ふ因に事情右の如くなれば日韓電氣瓦斯會社にては同場へ往復の方に限り更らに大割引回數切符を發行すべしと日韓電氣瓦斯が常に吾人の爲めに圖る所あるは感謝に値す同好の士は奮つて其好意を無にすること莫れよ

●日給卅錢の取大盡 ▽娼妓を連れて芝居見物

十六日夜旭町歌舞伎座の特等席に二十一二才位の高襟姿の男金張金緣眼鏡にて娼妓風の女を素人風にして肩を並べ芝居見物中を怪しと認めし南部署の警官取調べしに女は新町遊廓大和新地巴樓娼妓君鶴事滿口キタ(二四)にして男は土地調査局臨時雇日給三十錢の滋賀縣人藤田久吉(二三)なる事判明せしが右兩人は正月になり前後三回壽座及歌舞伎座に芝居見物に來りし事判明し告發されたりと

●廿五錢で懲役七年 北海道釧路國釧路町掏模常習犯人北海道事伊勢重兵衛(三二)が當地に入込み昨年十二月二十日午後十一時頃明治町一丁目雜貨商谷中福松方店頭にて手袋一組(代二十五錢)を窃取し南部署に逮捕されし事は當時既報の如くなるが該事件は京城區裁判所に於て鎌田判事野田檢事の係りにて十七日公判開廷せられしが被告は前科十犯の惡漢なれば檢事は懲役七年以上十年以下の範圍に於て處刑を求むと求刑されたりと

●コ氏對李太王事件 李太王殿下よりコールブランドに對する株式賣買代金請求事件の本案の第一回公判期は來る四月八日午前十時より京城地方裁判所大法廷に於て橫田裁判長の係りにて公判開廷せらる可く當日辯護士大久保雅彥氏原法學博士小川辯護士等出廷すと

●京龍牛乳販賣所 從來藤富氏經營の永樂町牛乳販賣所は今回牧場直轄となり名を京龍牛乳販賣所と改め內外の設備作業に改善を加へ優良なる消毒牛乳を廣く供給することゝなれりと云ふ

●突當つた丈で三圓 岡山縣人當時御成町百三十七番戶梶田次郞(三七)は十六日午後十一時頃泥醉して明治町三丁目村瀨ミツ(二五)同ユキ(二二)に本町一丁目裏通り街路に於て突當りユキに負傷せしめ治療代三圓を支拂ひ訓戒放免

●前より出て尻に祟る 南部笠洞佐伯春(七〇)は南大門巡査派出所前街路に北部小安洞五統六戶金景禍(二六)は相生町街路に於て何れも放尿し南部署に告發され各笞刑五つに卽決

●石油罐を盜む 住所不定朴春元(三〇)は十六日正午十二時旭町一丁目五十三番戶吉田銀太郞方店頭にて石油罐を竊取し訓戒放免

●木炭を盜む 西部銀杏町總督府官舍四號錦織足喜代方にては十五日午後三時頃何者にか木炭四俵を竊取され屆出

◎花柳界だより

▲井門支店にては正月中の席順爭ひに大奮發の賞を懸けたり卽ち一番は金時計二番三番が金指輪と、遊びに行く者餘程注意せねば金時計どなり金指輪となるべし此調子にて進歩すると今に景品券を出す樣になるべし▲而して同樓に於ける一二三等の候補者は靜枝、房江、巴枝、久枝、富士枝の五人なりと、皆な負けるな▲告春樓の小町は總督府の吉岡さん〳〵▲大桝屋の二枚すいたの別玉も存外振はぬらしい、藥能書程利かずの格か▲同樓の淺子は酒呑む人は大嫌いだとて寢屁を嗅せて愛想盡しとなす▲京城樓の雪子は落籍される人が決つたので普通のた客は殿こかし▲同樓の月子は慾が深く祝儀の貎ババを極める事あり▲同樓の小菊は赤坂で左褄取つて居た丈けに藝も達者で常盤津が地で客を大切にするのは同樓一等だと云ふ▲大和新地大和亭の小梅と元祿の由良之助は妻持ちの憲兵に惚け競爭して居るが紫女郞の二代目になるな▲巴樓の千代花は氣前がサツパリさ肩掛けの一つ位は何でもないワと何でもあり相なり▲日暉樓の白雲はヒステリーが嵩じて此頃では可哀相に殆んど發狂的の事がある▲同樓の七越は大に發展して居るが新聞屋丈けには逃げを張つて出ないと云ふ▲同樓の月暉は辯護士でなければ人間の如に申さぬと▲同樓の梅代は初生の所が身上(鄕雀)

●演藝だより

▲浪花館 圓若一行の落語音曲手踊り
▲壽座 十八日の代狂言は『佐々木巖柳の傳』切『富士の曙二度の敷皮』
▲歌舞伎座 藝題は十七日の通りなり

平民文庫

▲中學生の諭示退校に關する隈本校長の辯明中『校外に於ける監督は一人一人刑事巡查の如く尾行する譯でないから責任は無い』と云つてるのは理屈だ斯る事理明晰な頭腦を有する校長も少なからう我朝鮮は幸なるかな▲子曰『師や過たり商や及ばず』と子貢曰く『師勝れりや』と子曰く『過ぎたるは猶及ばざるがごとし』と▲過ぎたるは猶及ばざるが如し、有難迷惑と申すべきか(小僧)▲京畿道慈惠醫院地方出張員云々の肩書を振回し吾地方鮮人に入齒の押賣をする巡廻齒科醫あり其實は(香具師)吾が鮮人は大に難有迷惑して居る右は事實院長村井靜夫君の配下の者に候や否伺ひ申上ます(鮮人總代)▲十五日午後九時頃太平町一丁目神理敎京城分院に於て神道講演あつたがナカ〳〵面白かつた(一信者)▲神理敎と云ふのは總督府で許可されてるのか(係)▲北部警察には此頃面白い否憤慨に堪わざることがある過日太平町三丁目の毛橋湯で入浴中朝鮮人を毆つて額に大瘤を拵へて告訴されそうになつた日本人巡查がある(への字)▲仁川の水產會社も重役に適任を得て眞面目に經營すれば此れ程有利なものは他にないのだが今期の總會にて善後策を講じて欲い(仁川人)▲昨紙『露人待合室に夜を徹す』と題したる記事末文に待合室に寒き夢を結ばしめどあるは全く執筆記者の誤記にして實は毛布の何十枚かを寄せ集めて暖き夢を結ばしめたるものなりしに就き茲に訂正して西大門署員驛員の好意を彼等に代りて多謝致します(一記者)

廣告

公告

第二號

一金貳拾圓也 敎育基金へ寄附

右ハ北部水門洞二統三戶裕經十郞殿ヨリ令夫人死去ニ際シ知人ヨリ寄贈セラレタル香奠ノ返禮ニ代フル爲當民團敎育基金トシテ寄附相成候條此段公告ス

明治四十五年一月十七日

京城居留民團役所

解雇廣告

店員 筒井松次郞

右の者不都合の行爲有之解雇致候に付爾今關係無之候間此段廣告候也

一月十七日 京城本町二丁目 佐藤牧商店

各位

勸農旬報

併合以來和氣靄々の間に茲に第二回の新春を迎へ吾農界の前途は倍々日新の曙光を展べ來候處各位の御經營有之候果樹、桑、山林用苗木類移植の好時節も切迫致候際本會社にては當局奬勵の方針を体し試驗したる結果成績優良なりし次定し左記種類の苗木を自營苗圃にて養成し廣く高需に應じ可申候間多少に拘らず御用命あらん事を希望致候

果樹苗木

各種一、二年生の別あり

○苹果苗木
紅魁（早）祝（中）紅玉（晩）柳玉（晩）倭錦（晩）國光（晩）

○梨苗木
長十郎（早）明月（中）太白（中）晩三吉（晩）今村秋（晩）バートレット（早）ロスチー（中）

○桃苗木
アムスデンジユン、アレキサンダー、天津水蜜桃、上海水蜜桃、金桃

○葡萄苗木
歐洲種ブラックハンボルク米國種レデーワシントン
其他栗柿等各種あり

○桑苗木
魯桑接木苗、同實生苗、市平苗赤木接木苗、十文字苗

○山林用其他苗木
櫟二、三年生苗、アカシヤ苗落葉松二、三年生、赤松二、三年生苗ポプラー苗楮桐

此外各種の苗木養成罷在候間御出張の上現品を御一覽被下度候御農業養蠶用具類純良蠶種又昔小石丸青熟種及肥料類各種販賣可仕候間御用命被下度候

營業目錄及定價表は御一報次第進呈可仕候

京城旭町二丁目（電話三六八番）
朝鮮勸農株式會社
振替貯金京城三七八番

世界一のかぜ藥
ねつ、はやりかぜ、づつうたちまちすに大効あり
[illegible]丸
丹平商會
代理店 京城 新井藥房
電話九百四番、振替口座京城一〇六八番

優等清酒
釀造販賣元
仁川港
吉金酒店
（電話七六番）

新荷着

厚物 薄物
浪板 平板
鐵板 各種
各種 垣用線

京城本町二丁目
和洋金物商
佐野彦藏商店
電話一六三番
振替口座京城一二〇番

試驗済 消毒牛乳
牧場直轄
京龍牛乳販賣所
京城永樂町二丁目
電話一七一〇 一九八八番

M.C.C.

土耳古紙卷
エムシーシー

專賣局定價は百本に付金九圓貮拾錢なるも朝鮮内は大安賣

京城、平壌龜屋……釜山、木浦、群山高瀬支店

弊館には夜警の設備有り
陸軍指定旅館
鐵道院指定旅館
仁川水產組合指定旅館
第一各保險會社指定旅館なり
御客樣の安全此の上なし

仁川海岸
旭屋旅館
電話二五一

商標
三味噌
[illegible]

小兒かんむしの良藥
效能 ○ひかん○むしけ○ちゝあまし○ひきつけ○ねあせ○ちばなれ○かべつち○かむ○かほてあしつりなどに大効あり

保壽圓

價五錢●十錢●二十錢●五十錢
本舖 大阪堂島蜆橋 高橋盛大堂藥局
全國到る所の藥店に販賣す

代理店 京城南大門通三丁目 新井藥房
電話九〇四番 振替口座京城一〇六八番

くだり病一切の特効藥

健胃固腸丸

主治 ●赤痢病●コレラ病●腸胃加答兒等に用ゐて奏効速なり
●常に持へ置き朝夕五粒づゝ服せば腸胃の衰弱を治し食物の消化を助く

本舖 大阪市東區伏見町堺筋角 谷回春堂
（電話東四五八番）（振替貯金番號八三〇）

代理店 京城南大門通三丁目 新井藥房
電話九〇四番 振替口座京城一〇六八番

朝鮮
補血强壯無比の珍菓

名產
人蔘清
人蔘蜜漬
人蔘飴

人參清

製造元
海市商會
（振替口座京城四八番）

本店 京城本町三丁目（電話二五〇番）
第一支店 同本町一丁目（電話三五四番）
第二支店 同本町五丁目（電話三二二番）
大邱支店 大邱元町一丁目（電話三二〇番）
木浦支店 木浦銀座通
工場 京城永樂町一丁目（電話一九〇二番）

懷中良藥仁丹

朝鮮代理店 京城南大門通 新井藥房

京城旭町一丁目
齋藤齒術所
電話一四一四番

◎
誠ハ弊店ノ主義也

登録商標
誠
釀造元
仁川山根町二丁目
深見勝三郎
電話二四八番 電信略號（フ）

目藥 回春

代理店 京城南大門通三丁目 新井藥房
電話九〇四番 振替口座京城一〇六八番

入院隨意
京城壽町三丁目（電話三七八番）
中島醫院
醫學得業士 中島貞信

本場精撰
茶

銘茶各種新物續々入荷付に卸小賣とも大勉强仕候間多少に不拘御用命願上候
仁川本町四丁目（府廳前）
田中芳春園
電話四五〇
振替京城五〇二

東京流納豆大安賣

特製
寶味噌
御料理向

仁川本町三丁目
味噌製造 漬物問屋
たからや
電話七三七番

笠齋流割烹
す津祢
南山町一丁目
電話千五百二番

磨擦白米
龍山精米所
京城龍山米倉町
電話一一二番

恩給

年金恩給低利長期契約
御時貸 割引手數料一割
今般右營業開始仕候
大門外神戸屋ノ分モ全部繼承迅速且懇切ニ取扱可申候
京城櫻井町八四
山口屋

一月中 汽船出帆廣告

キ

船名	行先	出帆
三省丸	舊島行	一月 日前 時
天草丸	海州行	一月十八日前 時
成歡丸	市串行	一月十八日前八時
海利丸	海州芝行	一月 日前 時
三省丸	大湖行	一月 日前 時

合資會社 仁川本町四丁目 電話一七三番
秋田商會船舶部

荷客取扱所
仁川本町一丁目 電話七五〇番 秋田商會船舶部荷捌部
仁川本町海岸通 電話四一九番 柴田回漕店
仁川本町四丁目 電話五二二番 山本回漕店